

冬期講習会 2019

◆ 中学3年生 ◆

ゴールを目指して走れ！走れ！走れ！



あっと言う間に夏は終わり、そして運動会、気づいたら中間テスト。そして今年もあと50日ほどで終わろうとしている。これからの時間は加速度を増して過ぎていく。

君は今、「受験」という競技場でトラックの第3コーナーから第4コーナーを走っている。そしてこれから最後の直線に向かうところだ。

受験まで走り切る。そのために冬期講習会 2019。やるぞ、ハードな特訓を。君たちの学習内容は「3年分」だ。いや、厳密に言えば9年分。小学校1年生に入学してからの総決算なのだから、1週間やそこらの短期間で終われるはずがない。第4回岐阜新テスト、実テをターゲットに、12月21日から第4回岐阜新聞テストの前日、1月11日までの計画を立てる。

そこから君の中学最後の自己との戦い、**冬期講習会 2019** がスタートする。

さあ、もう何も考えるな、100%の力で

ゴールを目指して走れ！走れ！走れ！

ここで、君たちに見せたいものがある。

岐阜新聞テストの個人成績表—君たちの先輩長良中Sさんのものだ。

努力の結果は早くて3ヶ月、普通で半年。

これが一生懸命努力を続け、その結果が最後に顕著に現れた例だ。Sさんは所属していた水泳クラブのハードな練習があり、夏期講習では授業に出られたのは3分の2くらいだった。(東海大会 100M自由形優勝) また練習の後、疲

れた体で夜の授業に出てきたが、眠たそうだった。だから中3の7月までの範囲を終えることができなかった。が、1,2年の内容は必死で頑張った。

偏差値、8月の第一回—45,0。10月の第2回—43,3。

なんと2回目は成績が少しであるが落ちてしまった。

しかし彼女は10月以降も必死に頑張りを続けた。

特に数学では、授業の始めに必ず質問をするようになった。

家庭でどれだけ問題を解いているか、彼女の努力がよく分かった。

11月、第3回の結果(47,2)が出たとき、少し上向いてきたが、本人としては頑張った分が思うように数字に出てないからか、さすがに不安そうに言った。「塾長、わたし大丈夫だろうか？」

彼女に言った「努力は嘘をつかない。神様は絶対に見ているから頑張れ」

そして冬期講習。彼女は4週間の自分の計画を、寸分たがわず、自分を信じ
てやり抜いた。そして年明けの岐阜新聞テストが終わった次の授業日



「どやった？」 「塾長、今までで一番出来た！」と笑顔で答えた。

1月の下旬、この個人成績表を持ってきたときのことは、今でも忘れられない。教室に入ってくるやいなや、クシャクシャの笑顔で封筒を差し出し

「塾長、これ見て！」

すべて過去最高。偏差値が一举に13ポイントも上昇。

7月の夏期講習開始から **5ヶ月間頑張りました結果**がこれだった。

11月の不安そうな顔は嘘のように、自信に満ちた彼女の笑顔が今も私の脳裏から離れられない。つらかった時間の長さの分だけ、それに耐えて努力し続けた分だけうれしさも半端じゃなかったんだろう。

成績アップは、徐々に出てくるのは少数派で、彼女のように、ためにためた力が一気にブレイクすることが多い。夏プロの挨拶で言ったように、飛行機は加速し続ければ、いつかは必ず大空に舞い上がる。間違いなく上昇する。

昨年は入塾前(2年冬)324点から入試で453点をたたき出した、現加納高校1年のMさん(2階の高校生教室で志望大学を目指し学年50番をキープしていますね)もこの冬期講習から3月まで100%で歯を食いしばって駆け抜けた。

さあ、次は君の番だ、これが最後のチャンス！

ゴールを目指して走れ！走れ！走れ！

英語・数学のような積み重ねの教科は、頑張っ結果が出るまでに普通で6ヶ月、早くて3ヶ月。だから今からの努力は入試に間に合う最後の期限。もし1月のテスト結果に現れなくとも、3月には必ず出ると信じて努力すべし。入試には必ず間に合う。絶対結果に出る！

感謝してその気持ちを伝えなさい。

『講習会の費用を誰が出してくれるのか』よく考えてほしい。その費用は親さんが一生懸命に働いたお金。君のために、君の幸せを考えて出してくれるのだ。中学までは義務教育（親が子供に教育を受けさせる義務がある）だから出すのが当たり前かもしれないが、高校はそうではない。行きたい者だけが行くところであって、親が高校入試の為に塾の費用を出す義務は全くない。そこを良く考えなさい。

8年前、高2のGW明けに入塾した長良高校のY君は（当時校内で200番前後）、努力に努力を重ね、高3秋の全統模試で、岐阜高校の生徒をもぶっちぎって岐阜県トップに立った。彼は1月のセンター試験の当日早く目が覚め、机の前に坐った。おもむろに地理のテキストを開き勉強を始めたがふと思った。

「何か違うぞ」

そして大学ノートを開き書き始めたのが、御両親宛ての「ありがとう」の手紙だった。彼は会場まで送ってくれたお母さんにその手紙を渡した。

誰が一番君のことを思ってくれているのか、君自身がよく分かっているはずだ。

感謝の気持ちをもって熱き炎となれ

そ・し・て

ゴールを目指して走れ！走れ！走れ！



順調に来ている君、そのペースで行け。

でない君、五日市剛さんの「月を呼ぶ魔法のことば」

の不良少女を思い出せ

「太陽は南から出て北に沈む」

レベルから、トイレに入れば「最低でも単語一つ覚える！」と頑張り

模試の結果をクラスメイト、先生にカンニングと疑われても

五日市さんと二人三脚で最後まで頑張り通し、

東北一の難関校に合格したあの少女の話を

ドラマを作れ！

奇跡は伝播する

奇跡を起こせ！

夏に誓ったように、全員で春に笑おう！

桜舞う志望校の校門を、4月に通るのは君だ！

学志舎塾長 山田勝登

＊12月30日に少し早いお年玉を渡します

